

あこがれ (1966)

メディア 映画
ジャンル ロマンس
製作国 日本
色彩 Color
時間 85分
初公開日 1966/10/01
公開情報 東宝

【解説】

複雑な家庭環境に育った青年を軸に描かれる純愛物語。原作は木下恵介、脚本は山田太一、監督は恩地日出夫が担当。出演は新珠三千代、内藤洋子、田村亮、林寛子、小沢昭一、乙羽信子。第21回毎日映画コンクール音楽賞と録音賞を受賞した。

母の再婚のために“あかつき子供園”に預けられた一郎は、平塚で老舗陶器店を営む吉岡家にもらわれ、立派な青年に成長した。血のつながりのない親子であるにもかかわらず、良好な関係を築き上げた一家の目下の関心事は一郎の嫁探し。そんなとき、一郎は19歳になった信子と再会する。信子もまた子供園の出身で、幼いころは一郎と特に仲の良い子供だった。昔を懐かしむ2人は子供園を訪ね、親代わりの先生だった水原園子に逢う。信子には酒乱の父親がおり、父から逃れるために平塚へ流れてきたのだった。毎日の逢瀬の中、2人はいつしか愛し合うようになり、一郎は信子との結婚を決意する。ところが、この話に一郎の父は反対、怒りを買ってしまう。信子は一郎のもとを去ろうと決めるのだが…。

【クレジット】

監督 恩地日出夫
製作 金子正且
原作 木下恵介
脚本 山田太一
撮影 逢沢譲
美術 育野重一
編集 岩下広一
音楽 武満徹 Toru Takemitsu
出演 内藤洋子 西沢信子
田村亮 吉岡一郎
林寛子 その少女時代
沢井正延 その少年時代
新珠三千代 水原園子
小夜福子 毛利園長
加東大介 吉岡光太郎
賀原夏子 妻 静子
小沢昭一 西沢恒吉
乙羽信子 すえ
沢村貞子 伯母 ハル
小栗一也 児童相談所員
本間文子 中年女

佐田豊	東洋軒の親父
榊田敬二	老人
浦山珠実	太田先生
菱見地谷子	鈴木先生
高橋厚子	陶光堂の店員
記平佳枝	女中
関田裕	番頭
西条康彦	青年A
大前亘	青年B
荒木保夫	青年C
川又由希夫	あんま
宮田芳子	食堂の客